

New-Era

平行移動形リニアハンド

HP04VRシリーズ 電磁弁付きタイプ



地球環境にやさしく

省資源化へのポイント

- ・電磁弁とアクチュエーター の距離を短く
- ・減圧弁を使用して必要最小 限の圧力で

配管作業、何かと大変ですね

●配管は面倒



●継手、チューブも必要



●作業を簡素化



HPO4V形ハンドなら1箇所につなぐだけ



HP04VRシリーズ

■形式表示記号



■仕様

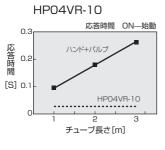
作動形式		複動形(通電時閉)
使用流体		空気
最高使用圧力	[MPa]	0.7
耐圧	[MPa]	1.05
使用周囲温度範囲	[°C]	5~50
給油		不要
配管口径		M5×0.8
最高使用頻度	[Cycle/min]	φ10、φ16:180 φ20:150
センタリング精度	[mm]	±0.07
繰返し精度	[mm]	±0.01
適用スイッチ		ZE形(無接点スイッチ)

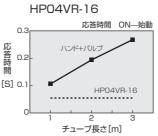
作動	形式	形式	シリンダ 内径	最低使用圧	開閉ストローク	把抗 [N		外形寸法 (厚×幅×長)	製品質量[g]
			[mm]	[MPa]	[mm]	閉時	開時	[mm]	
		HP04VR-10	10	0.2	6.5	10	16	30.2×50.4×51	105
複重	複動形	HP04VR-16	16	0.1	10	29	38	35.2×51.9×59	180
		HP04VR-20	20	0.2	14	49	66	43×65×70	360

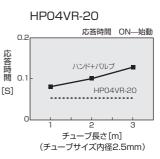
注) 把持力は開閉ストロークの中間位置で測定、把持点L=30mm、圧力0.5MPa時の実効値です。 極端に短いストロークでの使用におきましてはガイドの油切れにより動きが悪くなる事があります。

HP04VR

■応答速度

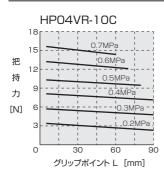


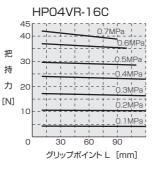


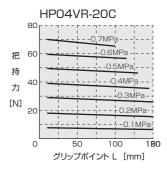


■実効把持力

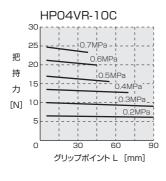
閉力(複動形)

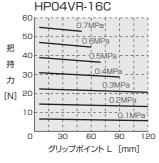


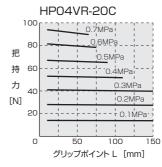




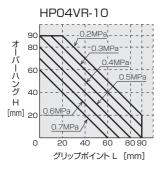
開力(複動形)

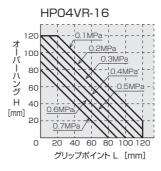


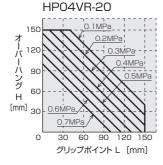


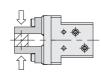


■グリップポイント制限範囲







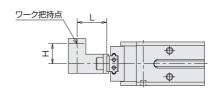


●アタッチメントの取付けについて

レバーに取付けるアタッチメントの把持点の距離グリップポイントL、オーバーハング量Hは、上表の範囲内としてください。制限範囲を超えるとガイド部に過大なモーメントが加わり、フィンガーのガタの発生など寿命や精度に悪影響を及ぼす原因となります。また、制限範囲内であっても、アタッチメントは、できるだけ小型、軽量にしてください。

●ワーク質量に対する機種選定の目安

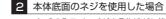
アタッチメントとワークとの摩擦係数、形状によって異なりますが、通常、実効把持力の5~10%又は、それ以下を目安としてください。また、ワーク搬送時に大きな加速度、衝撃が作用する場合、さらに余裕を見込む必要があります。

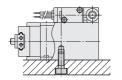


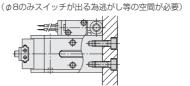
HP04VR

■本体取付方法

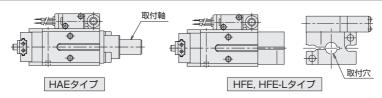
1 本体の通し穴を使用した場合





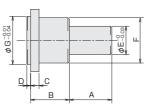


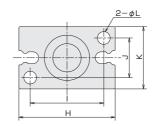
3 ハンドアダプタを使用して、取付ける場合



■ハンド用アダプタ外形寸法図

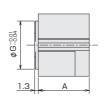


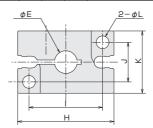




形式記号	А	В	С	D	Е	F	G	Н	1	J	K	L	付属ボルト(2個)	製品重量[g] (ボルト含む)
HAE-10	15	15	3	1.3	10	11	11	23	17	10	16	3.4	M3×0.5×8 ^L	11
HAE-16	15	15	3	1.3	10	16	17	34	26	14	22	4.5	M4×0.7×10 ^L	20
HAE-20	15	15	3	1.3	10	18	21	45	35	16	26	5.5	M5×0.8×10 ^L	28

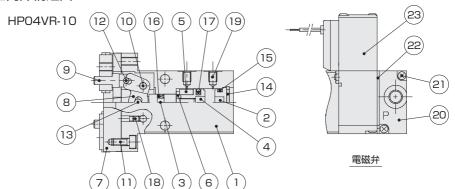
HFE形



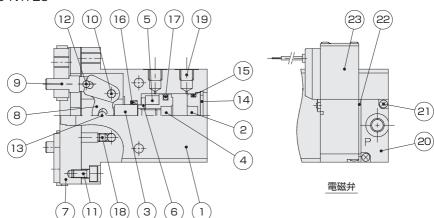


記号	۸	E	G	Н			К	- 付属ボルト(3個)		製品重量 [g]	
形式	Α		G	н	1	J	K	L	ハンド取付(2個)	アダプタ固定(1個)	(ボルト含む)
HFE-10	15	6	11	23	17	10	16	3.4	M3×0.5×16 ^L	M3×0.5×12 ^L	14
HFE-16	18	8	17	34	26	14	22	4.5	M4×0.7×20 ^L	M4×0.7×16 ^L	35
HFE-16L	18	10	17	34	26	14	22	4.5	M4×0.7×20 ^L	M4×0.7×16 ^L	33
HFE-20	19	13	21	45	35	16	26	5.5	M5×0.8×20 ^L	M5×0.8×20 ^L	55

■内部構造図



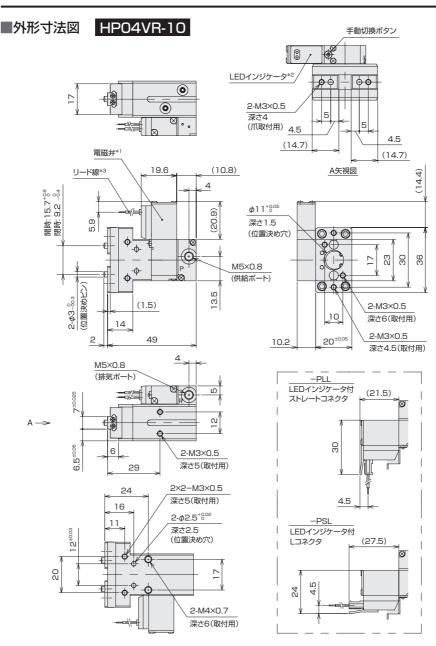
HP04VR-16 HP04VR-20



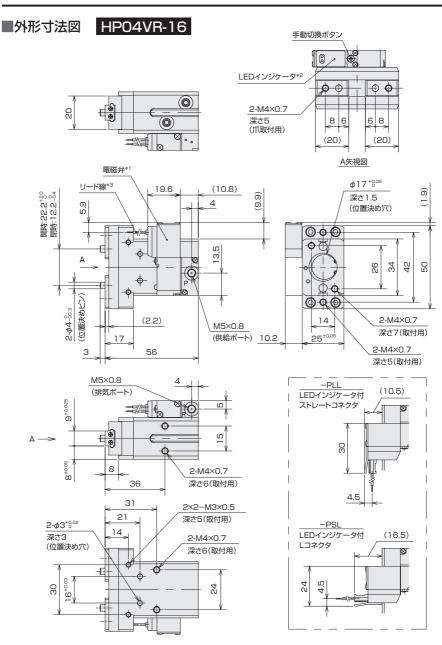
部品リスト

прин	27/1				
NO	名 称	材 質	NO	名 称	材質
1	本体	アルミ合金	13	ロッドピン	鋼
2	ヘッドカバー	アルミ合金	14	穴用止め輪	鋼
3	ピストンロッド	ステンレス鋼	15	Oリング	NBR
4	ピストン	アルミ合金	16	ロッドパッキン	NBR
5	マグネット	磁性体	17	ピストンパッキン	NBR
6	オサエカバー	アルミ合金	18	六角穴付止ネジ	鋼
7	リニアガイド	鋼	19	プラグ	ステンレス鋼
8	アクションレバー	鋼	20	ブラケット	アルミ合金
9	ナックル	ステンレス鋼	21	十字穴付なべ小ネジ	軟鋼
10	支点ピン	鋼	22	ガスケット	NBR
11	六角穴付ボルト	ステンレス鋼	23	電磁弁	
12	ナックルピン	ステンレス鋼			

HP04VRシリーズ



- *1) 図中の電磁弁の配線方式はグロメットタイプとなります。他の配線方式については図中右下を御参照下さい。
- *2) LEDインジケータ付は「Lタイプ」・「PLLタイプ」・「PSLタイプ」のみとなります。
- *3) リード線長さは300mmとなります。また、リード線の黒色は「一」、茶(赤)色は「+」となります。 (茶色は12V、赤色は24V仕様の場合)



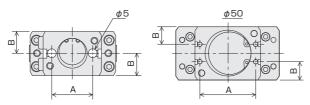
- *1) 図中の電磁弁の配線方式はグロメットタイプとなります。他の配線方式については図中右下を御参照下さい。
- *2) LEDインジケータ付は「Lタイプ」・「PLLタイプ」・「PSLタイプ」のみとなります。
- *3) リード線長さは300mmとなります。また、リード線の黒色は「-」、茶(赤)色は「+」となります。 (茶色は12V、赤色は24V仕様の場合)

HP04VRシリーズ

■外形寸法図 HP04VR-20 手動切換ボタン 0 Ð LEDインジケータ*2 ***** \oplus Φ 0 2-M5×0.8 8 8 8 8 0 深さ7 (爪取付用) (24)(24)A矢視図 φ21^{+0.05} 電磁弁*1 19.6 (13)開時:30.2^{+2,4} 閉時:16.6-1.0 2 深さ1.5 5.9 4 (位置決め穴) 🕅 リード線*3 $\bigcirc - \phi - \bigcirc$ 0 ď, 35 54 62 • വ ⇎ Ф. 位置決めパン) (d) -(d) M5×0.8 2-45-003 (排気ポート) (3)2-M5×0.8 16 深さ9(取付用) M5×0.8 23 (供給ポート) 32^{±0.05} 2-M4×0.7 11 3 67 深さ7(取付用) 12±0.025 -PLL Ф (11.5)ωĥ LEDインジケータ付 ストレートコネクタ • 10 2-M5×0.8 0 30 深さ8(取付用) 43 2×2-M4×0.7 37 深さ6(取付用) 27.3 4.5 2-\phi4^+0.02 17 2-M5×0.8 深さ8 深さ3.5 -PSL (位置決め穴) 下穴 4.2 貫通 (18.1)LEDインジケータ付 (取付用) Lコネクタ 40 30 24 4 Æ Ф Φ

- *1) 図中の電磁弁の配線方式はグロメットタイプとなります。他の配線方式については図中右下を御参照下さい。
- *2) LEDインジケータ付は「Lタイプ」・「PLLタイプ」・「PSLタイプ」のみとなります。
- *3) リード線長さは300mmとなります。また、リード線の黒色は「一」、茶(赤)色は「+」となります。 (茶色は12V、赤色は24V仕様の場合)

■スイッチ用ミゾ寸法



記号サイズ	10	16	20
А	17	24	30
В	10	12.5	16

■スイッチの飛出し量

スイッチのボディ端面からの最大とび 出し量(レバー全閉時)は、下表のと おりです。取付け時などの目安にして ください。

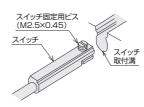


シリンタ 内径 (mm)	φ10	φ16	φ20
最大 飛出し量 (mm)	0	0	0

■スイッチの取付け

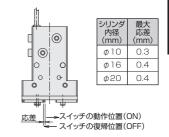
スイッチをスイッチ取付溝に差し込み ます。

取付位置設定後、時計ドライバを用い、スイッチ固定用ビスを締付けてください。 締付けトルクは、0.1N・m以下としてください。



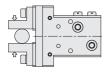
■スイッチの応差

レバーが移動してスイッチがONした 位置から、逆方向に移動してOFFす るまでの距離を応差といいます。

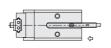


■スイッチ取付位置調整方法

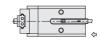
外径把持の場合



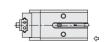
①ワークの外径把持及び全閉 を確認します。



②スイッチを本体のスイッチ取 付溝に矢印方向へ入れます。

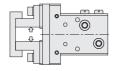


③矢印方向へスイッチを入れるとLEDが点灯します。

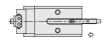


④③の点灯する位置から更に 矢印方向へ0.6ミリ移動し た所で、スイッチ固定用ビス により固定します。

内径把持の場合



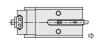
①ワークの内径把持及び全開 を確認します。



②スイッチを本体のスイッチ取 付溝に矢印方向へ入れます。



③矢印方向へスイッチを入れるとLEDが点灯し更に移動すると消灯します。



④③矢印方向(逆)に戻すと LEDが点灯した所より更に 0.6ミリ移動した所でスイッ チを固定させます。

①はスイッチONを確認したい位置を表しています。①~④の順に調整し取付けてください。